

ピーク時潮流図、託送供給可能量

● 資料ご参照にあたり、下記事項にご注意ください。

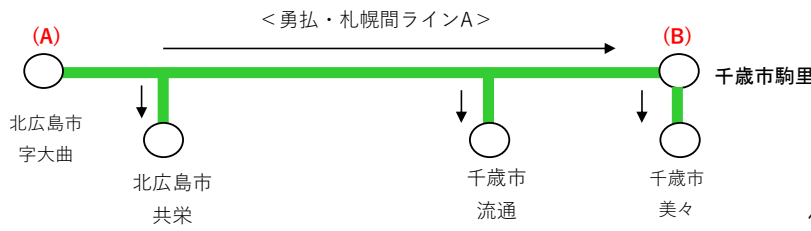
- ・掲載数値は、2024年度における当社特定導管の輸送能力および託送供給可能量の見込値です。
- ・託送供給可能量とは輸送能力より厳冬のピーク需要想定量を控除して算定した数値です。
- ・掲載数値には、受入・払出量の変動分（同時同量±10%）は含まれておりません。
- ・輸送能力および託送供給可能量は、ガスの運用圧力、油・ガス田からのガス生産量の変動等のオペレーション事情により、掲載数値と異なる場合がございます。

実際の託送供給に際しましては、当社託送供給約款に基づく検討の申し込みにより、個別に検討させていただきます。

北海道地域

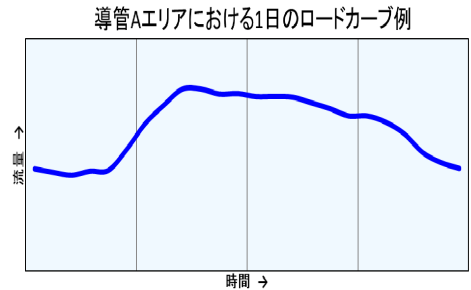
導管Aエリア

年間総需要量： 83 百万m3S程度



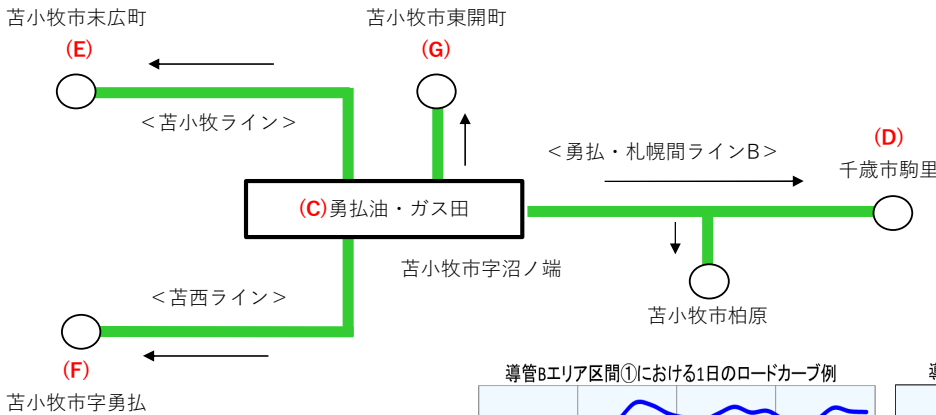
(単位：万m3S/h)

区間No.	輸送区間	輸送能力	託送供給可能量
①	(A) → (B)	3.6	1.0



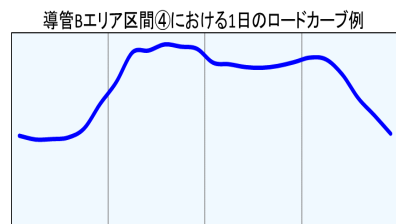
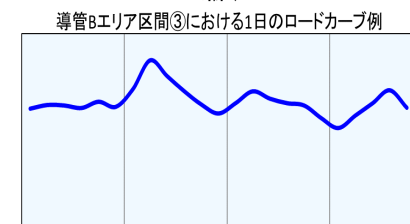
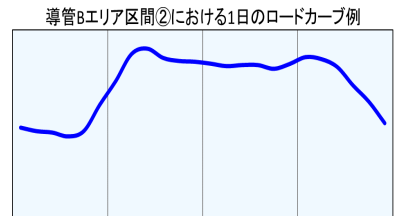
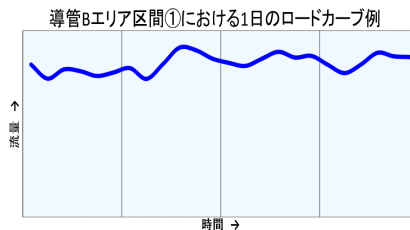
導管Bエリア

年間総需要量： 69 百万m3S程度



(単位：万m3S/h)

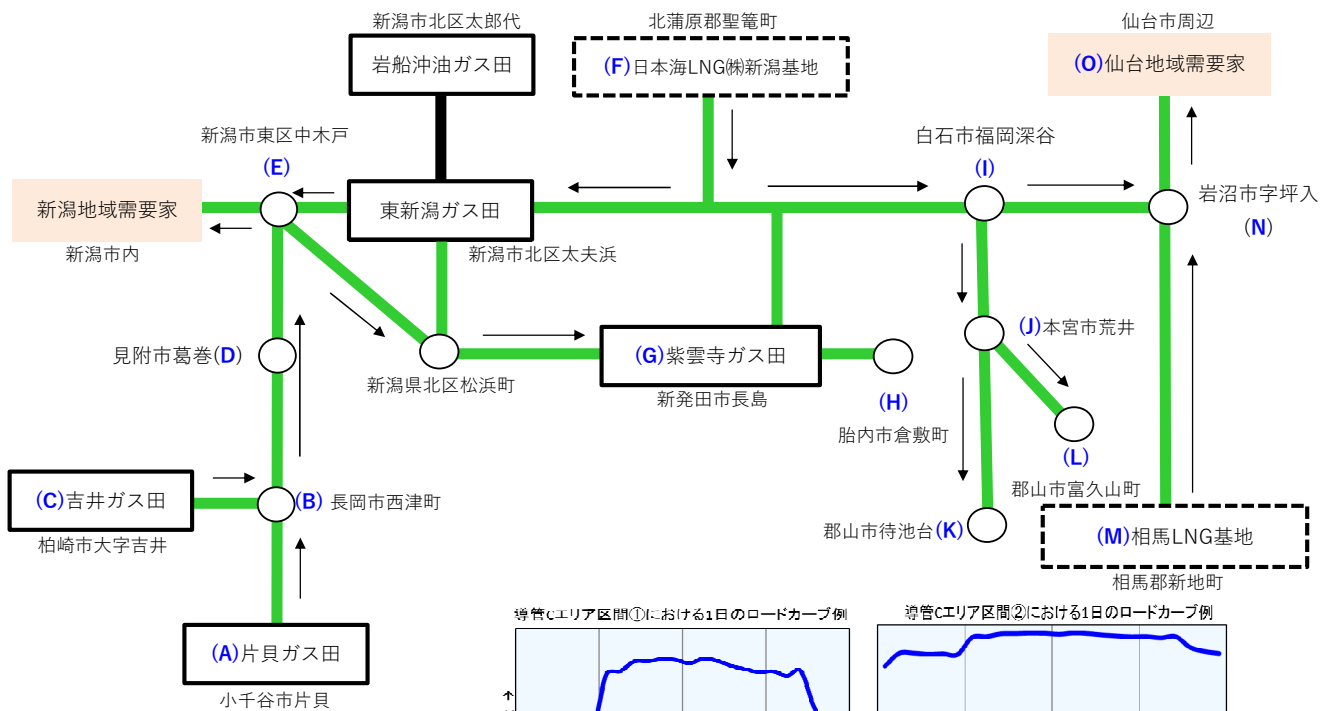
区間No.	輸送区間	輸送能力	託送供給可能量
①	(C) → (D)	11.9	11.5
②	(C) → (E)	5.8	4.8
③	(C) → (F)	1.0	0.2
④	(C) → (G)	0.8	0.5



新潟地域および新潟・仙台間 / 郡山間パイプライン

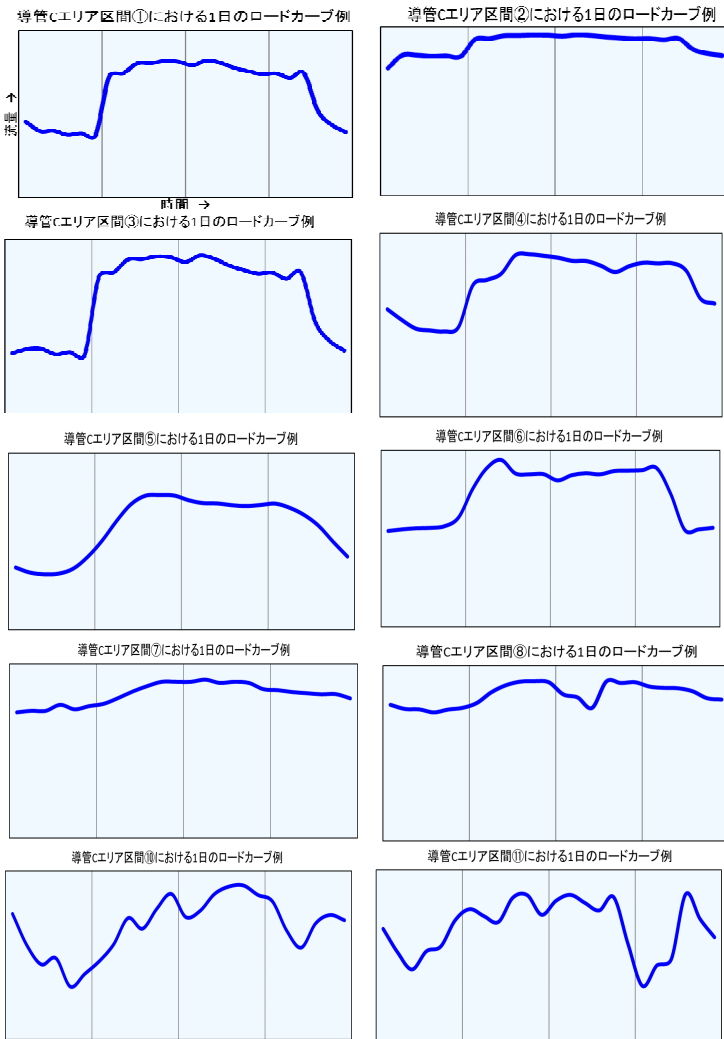
導管Cエリア

年間総需要量： 1,216 百万m3S程度



(単位：万m3S/h)

区間No.	輸送区間	輸送能力	託送供給可能量
①	(A) → (B)	5.0	0.3
②	(C) → (B)	5.0	3.7
③	(B) → (D)	6.2	4.0
④	(D) → (E)	6.2	1.4
⑤	(E) → (G)	2.5	0.1
⑥	(F) → (E)	9.3	0.0
⑦	(G) → (H)	3.2	1.4
⑧	(F) → (O)	13.7	1.4
⑨	(I) → (K)	18.7	14.7
⑩	(J) → (L)	4.6	4.0
⑪	(M) → (N)	45.0	37.6



凡例	当社パイプライン	主要地点	LNG輸入基地
	他社(接続)パイプライン	当社油・ガス田	